

(特非) まちづくり法人山梨タンク

令和6年度定時総会 議事録

(1) 日時及び場所

日時: 令和6年5月30日(金)

開会: 19:30~20:00

場所: 山梨県甲府市里吉4-1-1 WORKSHED

(2) 正会員総数及び出席者数

正会員総数: 15名

出席者数: 10名

(3) 審議事項

1. 第1号議案 令和5年度事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録承認について
2. 第2号議案 令和6年度事業計画承認について
3. 第3号議案 令和6年度活動予算承認について
4. 第4号議案 理事選任について

(4) 会の経過の概要及び議決の結果

1.開会のあいさつ

事務局長長田より開会宣言を行う。

2.総会成立の確認

開会に際して、議決権を持っている正会員の出席者数を報告した。

正会員数は全15名、会場で参加している正会員数は10名、委任状を提出している正会員が3名、以上13名が出席しており、当法人の定款第26条に基づく、総会の成立人数である正会員の過半数の参加があったため、成立していることを確認した。

3.議長及び書記、議事録署名人の選任

総会を進めるにあたって、事務局長より、参加者から議長と書記、議事録署名人を下記の通り選任した。

議長 名取邦明

書記 嶋田尚教

議事録署名人 嶋田尚教（あともう1名）

以降は議長が進行を務めて進行した。

4.議案審議

※議案の詳細は別紙参照のこと。本議事録には、特に注記すべき点と質疑や意見のみ掲載する。

4-1.第1号議案

第1号議案では、令和5年度の活動報告と各種決算書類について、別紙資料に基づき、代表理事である河西より説明。以下補足。

- ・今回の事業報告は、設立自体が令和6年1月25日だったため、事業年度末である3月末までの内容のみとなっている。
 - ・令和6年度より、会費を徴収しているため、令和5年度の収入は0円。
 - ・支出に記載されている「通信費」158,400円は甲府経済新聞の月額維持費が52,800円の12か月分、25,780円は登記の時に作った法人のハンコ代、業務委託費の4,000円は甲府経済新聞のライターへの謝礼、支払会費11,000円はお仕事体験のドンキホーテのイベントの協賛金。
- 以上のような報告があった。

続いて、当法人監事の市川より、監査報告があり、令和5年度の決算報告書は適正に記載・処理されていることを認める旨の報告があった。

4-2.第2号議案

第2号議案では、令和6年度（次年度）の事業計画について、別紙資料に基づき、代表理事の河西より報告があった。以下補足。

・現時点で考えている企画や活動を報告しているのみのため、新たな企画などは次々提案して構わない。

なお、この時点で意見があったため、記載する。

（市川）ボランティアでイベントに参加者している人に対して、今後謝礼や交通費を出す予定はあるのか？

（河西）本来は出したい。原資の問題もあるので、令和6年度については、どのようにするか検討、令和7年度から交通費を出せるようにしたい。

（丸山）もし謝礼や交通費を支払うということになれば、その規定を作る必要が出てくる。

（丸山）団体として、いろんなことをやっている印象だが、そのうえで山梨タンクとして、イベントを通して「蓄積をどうするか」という方向性も検討いただきたい。ノウハウの蓄積やどのようなイベントにしていくのか、回数を重ねるごとにどのようにしていくかが必要。

（嶋田）事業報告について補足する。今年度の事業計画については、自分と河西さんと長田さんと話し合いした。現在の事業は「甲府経済新聞の運営」「イベント開催およびその事務局業務の受託」「シェアスペースの貸出」の3本柱があって、今年度は、これらの柱を徹底して事業として成り立つように粛々と実施することが重要であると考えている。

一方で、丸山さんのおっしゃる通り、イベントを多数開催し、ノウハウを蓄積することも必要。特に、イベント後の反省点を次回に活かすことを強めとしたい。例えば、イベント終了後に開催レポートや事務局側のコメントを発信することで、信頼感の向上にもつながると考えられる。

4-3.第3号議案

第3号議案では、第2号議案で説明した事業計画と紐づいた令和6年度収支予算について、代表の河西より説明があった。

収入の部については、会費収入、みんなのメディア事業における甲府経済新聞の広告収入、みんなのまちづくり事業における参加費収入などで合計2,230,820円を見込んでいる。

支出の部については、みんなのメディア事業における甲府経済新聞のシステム等利用料、ライター勉強会の講師料、その他管理経費などで、合計1,918,600円を見込んでいる。

詳細については、議案を参照のこと。

(市川) 人件費は織り込まないのか？

(河西) イベント開催時の人件費はイベント開催費で支払うこととする。一方で、当法人の事務局をパートタイムでもいいので採用をして、それに対するお金を支払うことも考えたい。全員が兼業して、時間を創れていないことで、今の事業が停滞していることは否めないため。

(丸山) 交通費や人件費の規定はあるのか？

(河西) 現状ない状態。

(丸山) 今後支払う場合は規定を決める必要がある。

(長田) 規定の作成の進め方は？

(丸山) 規定は事務局で案を作り、理事会に諮って、総会で決定する。

(長田・河西) 規定の作成と事務局をどうするのかの検討を、令和6年度中に進める。

(丸山) まず、「事務局」の仕事を定義したうえで、雇用などの規定を検討する必要がある。団体を作っていく方針として、事務局はどうしていくかを考えてほしい。

4-4.第4号議案

第4号議案について、新理事として選任された嶋田より、選任に際してのあいさつを述べた。本議案に対する補足および意見はなかった。

5.議案の審議

最後に、議長より、全体の質問を求めた。この時点での質問はなかった。

ここで、各議案について、参加者に承認するかを求めたところ、下記の結果となった。

第1号議案 出席者全会一致で承認

第2号議案 出席者全会一致で承認

第3号議案 出席者全会一致で承認

第4号議案 出席者全会一致で承認

6.総会終了

以上で全ての議事が終了。

総会終了のため、議長を解任し、終了。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 氏名 ⑩

議事録署名人 氏名 ⑩

議事録署名人 氏名 ⑩